

令和6年度 柳町地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

新型コロナが5類に移行し、地域では従来通りの活動が行われるようになりました。地域ケアプラザ職員は積極的に地域に訪問し、介護予防講座等の開催や移動販売の支援等、地域の皆様との信頼関係作りに努めています。
令和6年度も、地域の情報等、情報発信を積極的に行い、地域の方々が健康で安心して社会生活が送れるよう、地域の方々とともに地域づくりに努めてまいります。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| ☐ | ☒ | ・地域の相談窓口として、高齢者だけではなく、障害児者や子どもの相談についてもしっかりと受け止め、各専門機関と連携し支援する。
・基幹相談支援センターとの情報交換会を活かし、地域の方の障害理解を進めるための啓発活動等を検討し実施する。 |
| ☐ | ☒ | ・地域支援者の協力を得ながら支援できるよう、地域支援者へのアプローチを心がけ、区役所の多職種とともに課題解決できるようにする。
・相談ケースへの直接支援や連絡会などを通じ、他部署の役割を理解しながら連携に努める。 |
| ☐ | ☒ | ・昨年度より再開している、認知症サポーター養成講座を、町内会、保育園、学校、金融機関等において開催する。また、認知症について学ぶ講座を開催する。 |
| ☐ | ☒ | ・介護予防の必要性を、要介護状態となる前から、講座や地域のつどいの場などに出向き、地域住民に伝えていく。 |
| ☐ | ☒ | ・地域ケア会議を実施し、課題共有を図り、行政、民生委員、医療機関、サービス事業所などとの多職種協働やネットワーク作りにつなげる。
・地域課題について整理し、不足している社会資源について、地域の方や関係機関等と一緒に考えていく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

今年度柳町地域ケアプラザは開所15周年を迎え、柳町ふれあい感謝祭（共催：金沢福祉センター、金沢ひだまりの家）を拡大開催しました。障害福祉サービス事業所の自主製品の販売等を行い、地域の多くの皆様にケアプラザや障害福祉サービス事業所について知っていただく機会となりました。また、基幹相談支援センター、後見の支援室との共催で講座を実施し、事例を通じたエンディングについて考える機会をもちました。地域の方からは高齢者に関する相談のみならず、世帯で心配な家族のご相談をいただくこともあり、関係機関と連携しながら対応しました。地域ケア会議では、「認知症の方が暮らしやすい地域」をテーマに民生委員や関係機関の皆様と意見交換しました。認知症理解の啓発の必要性や当事者の方が携わることができる居場所づくり等の重要性について共有しました。また、認知症サポーター養成講座は昨年度より再開し、近隣の大学や保育園にて多くの皆様に認知症理解について啓発することができました。次年度は、小中学校の児童、生徒に向けてサポーター養成講座の開催を進めていくとともに、認知症の方の居場所作りについても検討し実施したいと思います。

☐ 区からのコメント

施設開所15周年を受け、ふれあい感謝祭を拡大し、地域住民に対する障害への理解促進に取り組んでいただきました。また、Ayamuを積極的に活用いただいております。システムへの登録や周知に加え、収集した情報を地域や利用者のニーズに併せた形式で提供するなど、きめ細かい広報活動を行っていただいております。職種間での連携体制も整備されており、組織内の情報共有も密に行われております。

大学や保育園を対象とした認知症サポーター養成講座を継続的に実施していただいております。また、中学校の職業体験等を通して、地域ケアプラザの役割について理解を深めていただきました。小・中学校に対する講座の検討も進めていただき、学校とのつながりを強化していただければと思います。地域ケア会議では認知症の問題を抱えた高齢者の支援について、役割や課題の理解を深めていただきました。今後も引き続き地域の関係機関と顔の見える関係づくりや連携の強化をお願いいたします。